

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国 語（国 語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科で育成する資質能力を「言葉の力」として、どんな力を身に付けていくのかを明確に提示し、見通しをもって学習できるように工夫されている。 ・「ふり返る」では、漢字や言語知識、練習問題、本の紹介等、発展的な内容で充実している。また、「生かそう」で、学んだ力を他教科の学習や日常生活で生かせるように促している。 ・言葉の広場では、多くの言葉が紹介されていて充実している。 ・俳句や短歌、古典等、伝統文化教材は、ページが興味を高めるように色付きで強調されている。 ・ノートの様子がすごく丁寧で分かりやすい。 ・言葉の学習は、文字数が少なく、色がついていて見やすい。 ・漢字の練習が文章中のひらがなを漢字に直すページとして、日常生活に生かされるものである。 <p>【不都合な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つかむ」で各単元の思考課題が示されているが、学習させにくい場合もある。 ・児童の発言例が吹き出しで示されていて具体的でわかりやすいが、語り過ぎである。 ・言葉の学習は、自主的に学習に取り組みやすい工夫がされているが、説明が多く記載されていることで、辞書で調べる必要性が薄くなる。 ・説明が多く丁寧すぎ、授業時間の確保が困難な可能性も考えられる。 ・教材で、発達段階に合わず難しいものがある。 ・漢字練習がドリル的で解答付きだが、漢字学習はドリルを使用する機会が多く不必要である。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語のカギで学習事項の確認がしやすく、意欲の高い子にとっては興味を高める内容。 ・「ふりかえり」で、学習した内容が簡潔にまとめて示してあり、「学びに向かう」では、さらに考えたいことや取り組みたいことなどが、わかりやすい記述例で記載されている。 ・図や絵、写真などが多く、また大きく掲載されており、見やすくわかりやすい。映像に頼りがちの現代の子供たちには合致している。 ・言葉のきまりや言葉の泉が、図や絵で比較し、丁寧で詳しくわかりやすい。 ・伝統的な言語文化教材が、声に出してリズムを味わう教材として各学年で配置されている。 ・「言葉をつないで文を作ろう」では、学習漢字をイメージしやすい絵に表記し、短作文への意欲を高める工夫がされている。 ・書くのところは原稿用紙で書かれているので、指導しやすい。 ・読書への意欲が高まるように、本の紹介が充実している。「この本読みたいな」の言葉も良い。 ・言葉の泉は「～をしましょう」で語尾が柔らかい表現で説明されていて親しみやすく読める。 ・色遣いが優しい。絵も優しく親しみやすい。 ・書く単元で、中心の言葉に色をつけられ、段落のまとまりがわかりやすい。 ・表紙裏に美しい写真と詩が掲載され素敵である。 ・漢字の組み立ても色の強調が効果的である。 <p>【不都合な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあては、やや抽象的で、固さのある文である。 ・3年説明文が二つ続くのはハード。同じ学期に続くのはどうか。 ・上下巻になっている。季節のページが比較しにくい。 <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		

種目（教科）	国語（国語）	教科責任者 氏名
発行者の番号	17	発行者の略称
		教出
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「漢字を学ぼう」では、教科書での読み方に加え、一緒に覚えたい読み方の表示が見やすい。 ・哲学対話や読むの練習等で、写真を活用して思考させるなど、斬新な教材がある。 ・写真をもとに気づいたことを話そうという教材が良い。視覚的効果等、新しい感覚の現代的な表記や想像して楽しめるように写真も工夫している。 ・ここが大事では、比喩など文章中のものを使ってあり、具体的でわかりやすく、応用しやすい。 ・言葉の木が系統立ててあるので教室掲示しやすく、葉の形を変えて視覚的にも学習しやすい。 ・話し合いをどのようにまとめればよいのか黒板例が出ていて学級での話し合い活動に生かせる。 ・順に学習が進められるように具体的な学習課題が示され、下段に思考モデルも例示されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、絵や図や表を活用して言語活動の学習が進めやすい。 ・話し合いましょう。説明しましょう。など、言語活動が主体的なものとなるように促している。 ・4年の物語文に落語を使っているのは面白い。 ・興味を引き付ける写真が多く掲載され、学習を継続するための工夫がされている。 <p>【不都合な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び方、ノートの書き方が丁寧に書かれているが、書き過ぎである。 ・文章が高尚でレベルが高い傾向がある。読書量の少ない子にとっては辛い。 ・宮沢賢治・雪渡りが5年に入りレベルが高い。 ・詩の掲載が視覚的に工夫されている。 ・まどみちおがふんだんに使われている。 ・写真を見て話し合う活動がある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
	発行者の番号	38
		光村
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文章の後に学習の見通しが見開きで収まっていて見やすい。 ・項目別のつけた力が、前学年の学習とのつながりやどこで力をつけていくかが、目次でわかりやすく示してある。 ・付録で、つけたい力や学習用語など、学習の重点事項をわかりやすくまとめ、効果的に活用しやすくなっている。「言葉の宝箱」などを含め、学習事項が日常生活でも生かせるように、簡潔にわかりやすくまとめられており、学習意欲が高まる工夫がされている。 ・学年で掲載体裁が統一されていて、どの学年を担当しても教師も心構えしやすい。学習の流れも統一感があり見やすく学習させやすい。 ・下段に視点を変えて言語活動に取り組めるように工夫してある。 ・情報活用能力については、発達段階に応じた学習活動が示され、次の書く活動に活用できる。 ・話型が具体的に示され、発表活動で使いやすい。 ・下段にどんなことを書けばよいのかノート例が出ているので子供も学習の見通しを持ちやすい。 ・単元はじめての表紙がねらいを考えさせるなど導入の学習がしやすく、興味を持たせやすい。 ・説明文が長短で練習と本番として取り組めるように、例などがシンプルに示されている。 ・4月最初の学習で共感できる挿絵で想像を働かせてお話ししたくなるものが続いている。 ・興味や関心を高めるような教材が多い。 ・対話のページなど、活用力をつける学習パンフレットやポスターに力が入っている。 ・情報と対話の練習などスキルの学習として、日常生活に国語の力が生かせるような学習内容が工夫されている。 ・情報モラルの学習後、学習後に主体的に取り組めるような工夫がされている。 ・下の説明文が情報を挟んで言語活動に身に付けた力が生かせるような単元配列の工夫がされている。 ・池上彰など、テレビによく出ている人の文章で興味を持たせる工夫がされている。 ・程よいカラフルさで明るさを感じる。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>	

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東書

【良い点】

- ・正しく整った文字を書くためのポイントが簡潔で明確に示され、学習の流れもわかりやすい。
- ・学習準備や書き方についての写真が分かりやすい。
- ・話し合いなどの活動を入れることによって、より学習意欲が高まるように工夫されている。
- ・生活に広げようでは、相手意識をもって、より良い作品を作成するための学習活動の展開例が示されている。
- ・毛筆で書いてみようで線の種類が豊富で親しみやすい。
- ・お手本の字が大きく指書きで段階を踏んで指導できるようになっている。
- ・写真が効果的に使われていてどのようにすればいいかわかりやすい。
- ・書写ノートが不要なくらい書き込みできるページが充実している。
- ・文字の泉で、氏名の書き方が1ページ使われている。小筆と鉛筆の違いが明記されている。
- ・筆と線がわかりやすく筆のキャラクターが効果的。字を押しているキャラクターも効果的である。
- ・水書用紙や絵筆の活用など、点画を書く楽しさが実感できる構成になっている
- ・ひらがなカタカナローマ字表がいつでも確認できるようになっていて筆順も書かれている。
- ・文字の歴史や筆や鉛筆の製造工程の写真が紹介され、興味をもたせるようになっている。

【不都合な点】

- ・版が大きいので机に乗せにくい。
- ・お手本の文字はやや難しい。

以上の理由により教科書としてかなり良い。

発行者の番号	11	発行者の略称	学図
--------	----	--------	----

【良い点】

- ・硬筆のなぞり書きが豊富である。
- ・学習を生かして他の作品が作れるように絵を多く用いてわかりやすく学習意欲を高めている。
- ・確かめて書こうでは、注意すべきポイントがわかりやすい。
- ・書写の不思議コーナーが充実している。（文具の製造過程や歴史など）
- ・用具の準備や片付けも小筆の持ち方も写真でわかりやすい。

【不都合な点】

- ・読み物的な傾向がある。
- ・3年の書初めが3文字で書きにくい。
- ・情報が多くてかえって使いにくい。
- ・お手本が2ページ見開きで使うので机に乗らない。

以上の理由により教科書として概ね良い。

特徴・特筆すべき事項

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名
発行者の番号	17	発行者の略称
		教出
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次が見やすく、写真も多く学習の進め方がわかりやすい。 ・筆の穂先の写真によってより分かりやすい。 ・レッツトライで、学習したことを日常生活に生かすように例示を多く掲載してある。 ・硬筆の書き込み欄も多い。 ・振り返り欄が必ずあり、振り返りを毎回習慣化させやすい。 ・筆順のきまりがあり、大まかなルールがわかりやすく示されている。 ・お手本の文字が充実している。量的に良い。 ・1年で水書用紙が付いているあり、硬筆と毛筆の連続性一貫性を重視している。 ・手紙の書き方の説明が丁寧に掲載されている。 ・書いて伝えようが、カラフルで分かりやすい。 ・参考例も写真で大きく紹介されているので子供たちの意欲付けに効果的である。 ・行書へのつながりがある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	
発行者の番号	38	発行者の略称
		光村
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆と硬筆を関連付けて学習が進められるようにしてある。 ・「空に大きく書こう」で、実際の指導を考慮した写真が掲載してある。 ・発展学習資料が比較するもので工夫があり、学習ポイントも明確で書く意欲を高めている。 ・作品数が増えた。 ・お手本に書き順が掲載されてよい。 ・穂先ちゃんなど確かめようシールがあり、効果的な活用ができる。（3年） ・国語との関連がわかりやすい。 ・筆の動き流れが写真で示され、わかりやすい。 ・お手本の中に気を付けるポイントが示され、わかりやすい。 ・6年生の書写ブックが1年からの学習や日常生活で生かせる内容の付録が充実している。 ・鉛筆の持ち方の写真が大きく、強調されたものになっている。 ・1、2年の硬筆は指でなぞり、鉛筆でなぞる学習の流れが段階的でよい。 ・お手本も大きく見やすい。 ・猫のキャラクターやはしごの絵など、学習意欲を高める挿絵や図が多い。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>	

種目（教科）	国語（書写）	教科責任者 氏名
発行者の番号	116	発行者の略称 日文
特徴・特筆すべき事項	<p>【良い点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書写学習の進め方がわかりやすく示されている。 ・比較することで学習のポイントについて主体的に考えさせようとしている。 ・「自分の力で」では、自分で題材を選び、めあてをもって積極的に取り組めるようにしている。 ・朱筆の手本では、穂先のイラストがわかりやすい。 ・生活の中の書では、興味をもって取り組めるような身近な題材を掲載している。 ・用具の置き方の写真が大きく見やすい。 ・筆の穂先の向きがわかりやすく、吹き出しで止めるところがわかる。 ・まとめのところで学習を振り返り確認できる。 ・硬筆の筆順が色を変えてわかりやすい。 ・水書きシートがついていて書きたくなる工夫がある。 <p>【不都合な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手本が難しい。 ・筆の運びは3年生にしかない。 ・お手本が小さい、見にくい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	社 会（社 会）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>①言葉の説明がわかりやすく丁寧であり、全員で確認しやすい。</p> <p>①「学び方コーナー」で調べ方やまとめ方を系統的に確実に押さえることができる。</p> <p>①1年間のまとめがあつてよい。</p> <p>②「まとめる」では、まとめ方を例示し、表現力の育成に配慮してある。</p> <p>②資料が多く、多様な見方が示されている。</p> <p>③学習の進め方として、つかむ→調べる→まとめる→いかす（大単元の最後は、ひろげる）が位置づけられ、自主的・自発的学習を促している。指導者にとっても進めやすい。</p> <p>③④石川県の題材が取り上げられていて、学習の意欲付けになると考えられる。 （3年火事：金沢市 4年北陸新幹線：金沢駅 5年これからの工業生産：輪島塗）</p> <p>⑤政治学習では、身近な題材を扱い、親しみやすく見通しをもちやすい。</p> <p>⑥選択学習の提示の仕方が明確であり指導もしやすい。</p> <p>⑦キャラクターが登場し、意欲付けになる。全体的に明るい色合いである。</p> <p>⑦5、6年では上下分冊とし、持ち運びの負担軽減に配慮されている。</p> <p>⑦全体的に文字が大きく、それぞれの学年に応じた適切な表現となっている。</p> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<p>①「まとめる」では、まとめ方を例示し基本的な知識の習得に配慮している。</p> <p>①4年では「水はどこから」で双六の形式で、6年歴史ではキーワードの穴埋め形式でそれぞれまとめるなど、楽しく基礎基本を身に付けるよう工夫されている。</p> <p>②「調べ方」「社会科の見方や考え方」が紹介されており、学び方への配慮があるとともに、思考力の育成にも配慮されている。</p> <p>②複数の資料を横に並べて思考を促すよう工夫されている箇所が多い。</p> <p>②6年の歴史では、キーワードを活用して単元を組み立てていて興味深い展開となっている。</p> <p>②歴史単元の導入で取り上げる題材（遣唐使）がやや難しい。</p> <p>③学習の進め方として、つかむ→調べる→まとめる→つなげる が例示されている</p> <p>③1時間ごとに「この時間の問い」「次につなげよう」が位置付き、指導する側への配慮もある。</p> <p>④政治学習でオリンピック、パラリンピックを取り上げ、タイムリーである。</p> <p>⑤選択単元が多く、地域教材への配慮が見られる一方で、どれを選択するか迷う。</p> <p>⑤4年での「水害」、3年での「地産地消」など、今日的话题が取り上げられている。</p> <p>⑥冒頭に、前学年の振り返りがあり、学年の連続性が意識されている。</p> <p>⑦写真資料が豊富で大きいのはよいが、5、6年では合冊のため、持ち運びにやや負担がある。</p> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		

種目（教科）	社 会（社 会）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<p>①まとめはノート形式でわかりやすい。</p> <p>②複数の資料の提示にあたっては、横並びになっていて、思考しやすい箇所が多い。</p> <p>②「話し合う」についての例を紹介し、表現力に配慮された構成である。</p> <p>②③学習の進め方として、3年生で、ぎもんを見つける→調べる→話し合う→まとめる→つたえる、が例示されている。</p> <p>③単元の終わりには、「わたしたちの学びを生かそう」があり、読み物としておもしろい。</p> <p>③文章量は豊富だが、文字は小さく、表現はやや難し目である。</p> <p>④伝統的食文化である和食を取り上げている。（5年）</p> <p>⑤選択単元が多く、地域教材への配慮が見られる一方で、どれを選択するか迷う。</p> <p>⑥6年では、中学校の社会科についてもふれていて、連続性をもたせている。</p> <p>⑦写真や資料は大きくて見やすいが、紙質は薄い。</p> <p>⑦5、6年では合冊のため、持ち運びにやや負担がある。</p> <p>⑦石川県の題材が一部取り上げられている。 （4年わたしたちの県「石川県の交通とおもな産業」）</p> <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	地 図（社 会）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>①最後のページで、州の表記があり、わかりやすい。</p> <p>②歴史では、世界との関わりの視点から詳しく資料が示されている。</p> <p>③④世界の動物や料理など、児童の関心を高めるための工夫がある。</p> <p>⑦石川県が見やすいようにレイアウトに配慮がある。</p> <p>⑦吹き出しがあり、児童の関心意欲を高める工夫がある。</p> <p>⑦写真やイラストが明るくて見やすい。</p> <p>⑦陸の高さがわかりやすく立体感があるものの、やや色味が濃い。</p> <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		
発行者の番号	4 6	発行者の略称	帝 国
特徴・特筆すべき事項	<p>①統計資料が豊富で、都道府県別生産量のグラフなどは、知識を習得する上で役に立つ。</p> <p>②「地図マスターへの道」は、社会的な見方・考え方を身に付けるために有効であると考えられる。</p> <p>③「地図のやくそく」のページがあり、解説に沿って自主的に地図学習に取り組むことが可能。指導者側にとっても大いに役立つ。</p> <p>③貿易資料が輸出入別に地図に示されていてわかりやすい。</p> <p>⑤自然災害と防災の資料が充実しており、今日的課題に対応している。</p> <p>⑤世界との結びつきでは、外国人観光客の増加についても資料が示されている。</p> <p>⑦QRコードで、さらに地図や資料を調べることができるように工夫されており、指導者側にとって役に立つ。</p> <p>⑦色味がちょうどよく（濃くもなく、薄くもなく）見やすい。</p> <p>⑦石川県の配置が2ページにまたがるため、切れ目があって見にくい。</p> <p>⑦「広く見わたす地図」は発達段階を考慮してあり、使い分けに便利である。</p> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	算 数（算 数）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「おぼえているかな？」では、既習単元の復習や、次単元のレディネス問題により、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。 ・ 「学びのとびら」「今日の深い学び」では、子ども達がお互いに多様な考え方について話し合う数学的活動で、話し合いながら論理的思考や数学的表現を高められるよう配慮されている。 ・ 文章題を数直線図で表す方法や、数直線図をもとに式を考えたりする活動を丁寧に扱い、文章題から立式する力を高められるよう配慮されている。 ・ 単元末の「いかしてみよう」や、巻末の「おもしろ問題にチャレンジ」で、学びを日常の世界や算数・数学の世界で活かす力が高められるよう配慮されている。 ・ 1年のスタート2単元分をA4版の別冊とし、今後のノート作りの素地を培えるよう書き込み式となっている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大 日 本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適用問題とそれに対応した巻末補充問題「プラス・ワン」により、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られている。 ・ 「発見！考え方」「ひらめきアイテム」で、問題解決に使った見方・考え方をおさえ、その後の学習に活用しやすいよう配慮されている。 ・ 「読み取る力を伸ばそう」では、学習を活用する力や、情報を読み取る力、根拠を説明する力を育成できるよう配慮されている。 ・ 1～3年には学んだことを家庭で生かす「おうちで算数」、4～6年にはコラム「ふくろう先生のなるほど算数教室」を設定し、学習内容についてさらに興味関心が高められるよう配慮されている。 ・ 学年1冊の合本とし、年間を通してふり返ったり見直しを持ったりすることができるようになっている。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

種目（教科）	算 数（算 数）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年以降、作図の仕方について、スモールステップの連続写真で説明し、基礎基本が身につくよう配慮されている。 見方・考え方を9つのキャラクターで表し、第2学年以降の巻頭で、前学年で学習した見方・考え方を領域ごとに、適宜確認できるように配慮されている。 課題発見から、問題解決、習熟の過程を、「～したいな」と帯で表し、見通しを持って主体的に学べるように配慮されている。 「かつどう!!」「アクティブ!!」のページでは、自分で考え、班で共有し、クラスでまとめる学習の流れが示され、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう配慮されている。 問題解決にあたり、低学年はドット図や絵、中学年はテープ図、数直線図、高学年は4マス関係表などの図を活用できるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなりよい。</p>		
	発行者の番号	1 7	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を「学びの手引き」として巻末にまとめ、いつでも基本的な知識・技能を児童自ら振り返ることができるように配慮されている。 つまずきやすい問題には、「考えるヒント」や「よくあるまちがい」を示し、理解が確実になるように配慮されている。 第2学年の「たし算とひき算の図」、第3学年の「かけ算とわり算の図」では、問題文の構造を把握し立式する際に、線分図などを使って考えたり、説明したりする力が低学年から段階的に身に付くように配慮されている。 単元末の「学んだことを使おう」や「広がる算数」では、算数の世界と日常場面をつなげ新たな課題を発見したり、探究的に取り組んだりすることで、主体的に学習を進められる教材を設定している。 環境問題や交通安全に関すること、情報のセキュリティーへの意識などを教材として扱い、今日的課題に対する資質・能力の育成が図られている。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

種目（教科）	算 数（算 数）	教科責任者 氏名
発行者の番号	6 1	発行者の略称 啓 林 館
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> コンパスの使い方や合同な図形の描き方は、QRコードから繰り返し動画再生することで確認しながら、技能の定着が図られるよう配慮されている。 巻末の「算数資料集」には、適宜確認できるように、説明の仕方や図の描き方がまとめられている。 単元末の「学びのまとめ」の「ふりかえろう」では、単元全体を振り返り、統合的・発展的に振り返り、「やってみよう」では、さらに思考力の育成を目指した問題を示し、深い学びとなるよう配慮されている。 単元の終盤の「自分の力で」では、既習学習をもとに主体的に学習が進められるよう配慮されている。 世界遺産の大仙古墳や金沢市の金箔づくりを取り上げ、伝統文化を尊重するよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>	
	発行者の番号	1 1 6
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の、「算数マイトライ」は、基本・応用・発展の3段階になっており、一人ひとりの学習の状況や学級の実態に応じて学習することができるよう配慮されている。 単元末の「わかっているかな」、「まちがしやすい問題」で、つまずきやすい問題を重点的に取り上げ、知識技能の定着が図られている。 巻末の「よみとろう あらわそう」では、本文中に出てきた問題を解決するための、テープ図や数直線図の読み方や描き方を扱い、図が使いこなせるよう配慮されている。 「算数アドベンチャー」、「活用」では、他教科や日常と結びつけた問題を扱い、学びを活かせるよう配慮されている。 付録の「学び方ガイド」には、算数で使いたい言葉や考え方を分かりやすくまとめ、主体的な学びができるよう配慮されている。 1～5年生の教科書が上下の2冊になっており、軽量化を図っている。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>	

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目 (教科)	理 科 (理 科)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<p>◎文字は5社中最も大きな丸ゴシックの使用となっている。</p> <p>◎唯一 A4判サイズで写真や図などの資料が大きく画質も鮮明。尚かつ軽量である。</p> <p>◎子宮内の子どもの育ち方など、巻末の資料がダイナミックである。</p> <p>◎「よう虫(赤ちゃん)」のように、学年の発達段階に応じた表記がなされている。</p> <p>◎終末の「学びを生かして深めよう」で、学んだことを生かして日常生活の事象などについて考え、説明することで「使える知識」に深化させるようにしている。</p> <p>◎領域ごとに「学びをつなごう」を設定し、下学年や他単元で学んだ内容を使い総合的に考えることで、個別の知識がつながり、科学的な概念が形成されるようにしている。</p> <p>◎比較実験や実験結果の変化が、見開きページで一見してわかる構成となっている。</p> <p>◎デジタルコンテンツは情報量が多く、教師にとっても有効活用できる。</p> <p>◎全般的にダイナミックな写真や図で、児童の主体的学習意欲を引き出す構成となっている。</p> <p>○他の教科書では簡単な扱いとなっている腎臓の説明などが詳細である。</p> <p>○実験の流れが具体的で、実験器具の操作手順の説明も読みやすい。</p> <p>○重要語句が太字で大きく記載され、更にアンダーラインが引かれている。</p> <p>本教科書は以上の意見により【極めてふさわしい】と判断する。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大 日 本
特徴・特筆すべき事項	<p>◎どのページにも「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」がページ上端につけられており、学習がどの段階まで進んでいるのか確認できるように工夫している。</p> <p>◎「りかのたまてばこ」「サイエンスワールド」によって、学習の内容を補ったり、発展的な内容で中学校への連携を図ったりするなど、科学への興味・関心を高めている。</p> <p>○文字のサイズは太文字になっている。</p> <p>○第3学年では、単元の最初に生活科とのつながりを記載し、既習の活用を促している。</p> <p>△目次の構成や単元配置が他の教科書とは異なり、関連性が分かりにくい学年がある。</p> <p>△重要語句は、特に目立つような配慮はない。</p> <p>△B5判サイズの紙は張りがありめくりやすいが、写真は他の教科書と比べてやや不鮮明である。</p> <p>△実験方法は身近な素材を使っているが、その分やや煩雑になっている。</p> <p>△実験全体の様子が見えづらく、実験準備物のリストの記載がない。</p> <p>本教科書は以上の意見により【概ね良い】と判断する。</p>		

種目 (教科)	理 科 (理 科)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>◎単元のはじめに育成すべき資質・能力を3つに焦点化したり、その後のページでも育成すべき資質・能力のマークが付けられたりして、単元のねらいが伝わるように工夫されている。</p> <p>◎ページ下に問題解決の流れが書かれており、そのページが問題解決のどの段階であるかも分かるように工夫されている。</p> <p>○B 5判サイズで写真の大きさは従来通りだが、画質は鮮明である。</p> <p>○単元の最初に、学習の見通しを持たせている。</p> <p>○器具の使い方の動画のみだが、デジタルコンテンツは活用できる。</p> <p>△実験のねらいが、他の教科書と比べてやや漠然とした書き方の単元がある。</p> <p>△重要語句は特に目立つようになっていない。</p> <p>△文字のサイズが従来のサイズで細い明朝体となっている。</p> <p>△臓器の説明など、他の教科書より比較的情報量が少ないものがある。</p> <p>△単元の展開を明示してあることは、逆に固定的な単元構成となり得る。</p> <p>△写真が多く実験全体の様子がかためて良い反面、操作の詳細が見えづらいものもある。</p> <p>本教科書は以上の意見により【概ね良い】と判断する。</p>		
	<p>◎重要語句が黄色でマーキングされている。</p> <p>◎人の内臓(正面、背面)の様子を児童の体のサイズでダイナミックに示してある。</p> <p>◎唾液実験ででんぷんが麦芽糖に変化するなど、発展的な知識も掲載してある。</p> <p>◎各単元はじめの「学習のつながり」で既習単元を示したり、問題解決場面で活用したい既習内容を「思い出そう」で示したりすることで、系統性を意識して学習できるよう工夫している。</p> <p>○文字のサイズは従来通りだが、濃い印字となっている。</p> <p>○AB判サイズで写真の大きさは従来通りで、画質も鮮明である。</p> <p>○実験方法は、身近な物で工夫して取り組めるものとなっている。</p> <p>○単元末・巻末に科学者からのメッセージや「科学の研究者たち」が掲載されており、科学の発展が理科学習と関連していることが伝わるように工夫されている。</p> <p>○裏表紙に「理科の安全の手引き」が掲載されており、安全に対して意識しやすいように工夫されている。</p> <p>△電池の回路図の例が1つずつで、複数扱っている他の教科書より少ない。</p> <p>△アサガオとヘチマを平行して扱うなど指導しづらい単元構成がある。</p> <p>本教科書は以上の意見により【概ね良い】と判断する。</p>		
発行者の番号	1 7	発行者の略称	教 出

種目（教科）	理 科（理 科）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	6 1	発行者の略称	啓 林 館
特徴・特筆すべき事項	<p>◎実験方法が簡潔な記載となっている。また、ワークシートとしての記録用紙の例もある。</p> <p>◎唾液実験では、綿棒を使用するなど、児童の意識に沿った実験方法が工夫されている。</p> <p>◎「これまでの学習をつなげよう」を設定し、下学年や他単元で学んだ内容を使い総合的に考えることで、個別の知識がつながり、科学的な概念が形成されるようにしている。</p> <p>◎顕微鏡操作の説明が他の教科書よりとても丁寧でわかりやすい。</p> <p>◎実験器具の使い方をまとめて巻末に掲載するだけでなく、実際に使用する実験観察のページにも掲載(「雲」の写真)されており、参照しやすくなっている。</p> <p>○重要語句が太字で大きく記載され分かりやすい。</p> <p>○文字のサイズはやや大きく太字で見やすい。</p> <p>○B 5判サイズで写真の大きさは従来通りだが、画質は鮮明である。</p> <p>○四季の変化は見開きページでわかりやすく掲載している。</p> <p>△生き物の写真など多くの情報が掲載されているが、その分写真が小さくなり見えづらい。</p> <p>本教科書は以上の意見により【かなり良い】と判断する。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大型A4版で、写真・イラスト等も大きく見やすい。特に、種・芽・花・実の写真は、ページの大きさを変え、ひと目で成長の様子が分かるよう工夫されている。また、見方を変えて撮った写真をクイズのように提示し、興味がわくよう工夫されている。 ・ただし、大型A4版のため、取り扱いの面では、机上に広げたときや持ち運ぶとき等、扱いにくいかもしれない。 ・幼児期の学びを活かして学習できるよう、巻頭に「がっこうせいかつすたあと」が設けられている。巻末には「ポケットずかん」があり、切り離して野外に持っていけるようになっている。ただし、情報量はやや少ない。 ・保護者とともに関心する教科書を意識し、保護者の皆様へのよびかけ、デジタルコンテンツ（QRコード掲載）も充実している。 ・吹き出しに育成すべき資質・能力が見えるように工夫されている。 ・「学びをふかめる」コーナーで対話を通して深い学びに至る過程を示している。 ・板書や掲示物、成果物の例が分かりやすく取組やすいものであり活用しやすい。 ・単元の途中に〇〇図鑑のページがあり、子どもたちが自力で活動できる内容が示されている。 ・「やくそく」として衛生面に気をつけるよう配慮されている。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大 日 本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙の模様には凸部分があり、手でふれただけで点字をさわっているような感覚がある。 ・イラストに落書き的な部分がある。 ・全体的に文字が多く、写真・見出しが小さい。種・双葉・花等の写真の配列がばらばらで、成長の過程を並べて見るができない。また、つぼみの写真がない。 ・見開きに情報もりだくさんである。 ・上巻8ページに児童の興味を引き出すため、紙の「カメラ」を作成するコーナーがある。また下巻113ページには夜の町のページがある。しかし、効率よく活用できるかは不明である。 ・巻末の「がくしゅうどうぐばこ」には、せかいの国々の様子や電車やバスにのるときのマナー等、様々なことに興味が持てるよう、工夫されている。 ・単元のながれが切れ切れになっており、各単元全体の様子がかみにくい。 ・ページ右端縦にせいかつことばやきらきらことばの欄がもうけられているが、あまり必要感を感じないものもある。また、その分紙面が狭くなり、見にくい。 ・下巻のおもちゃを作ってみようのページを見ても子どもが自力でつくり出すことができる提示の仕方ではない。 ・他教科との関連を意識するあまり、情報量が多くなっている感が否めない。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ ページの上部に「どきどき・いきいき・ふむふむ・にこにこ」のステップが示されており、現在単元のどこにあたるかが分かるようになっている。ただし、文字が小さい。 ・ 巻頭の見開きのもくじがテープ図状で示されているが、児童には伝わりにくい。 ・ 成果物例があまり参考にならない。また、同じ例が複数回掲載されている。 ・ 「ものしりノート」では、書く内容を考える際のモデルが多く示されており、教師の朱書き例もある。注意の欄に気を付けることが示されている。 ・ 動画資料を視聴できるようQRコードも示されている。 ・ 学習のふりかえりで自己評価の欄がある例を示してある。 ・ ○枠の中に学びのヒントとなる呼びかけが書かれている。 ・ 児童の書いたワークシート例に人物が描かれており、何の観察をしているのか、視点がかみにくい。また、イラスト、キャラクターも古めかしく、児童の興味をひくものとなっていない。 ・ 写真の中に植木鉢に黒マジックで児童が絵を描いてあるものがあり、指導上支障をきたすと思われる。上巻5ページの写真内の「ようこそ としょかんへ」の文字が見づらく「よろこそ」に見える。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
発行者の番号	17	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末に「学びのポケット」があり、学習に必要な習慣や技能が繰り返し習得されるように示されている。また、他教科との関連もひと目で分かるよう示されている。特に「本から学ぼう」のコーナーは活動の参考になる。しかし、単元冒頭にまとめて示されているため、使いにくい。 ・ もくじの年間計画が見通しをもちやすいものとなっている。 ・ 「まんぞくはしご」で学習の満足度を数値化しようという工夫がある。 ・ はなさん、だいちくんの二人が上下巻を貫くキャラクターとして示されているが、必要感のないページも見られる。（上101ページ、下69ページ等） ・ 「ヒント」や「やくそく」「手洗い・うがい」等、ページの端に学習の視点や基本的な生活習慣や技能を身につけられるよう、繰り返し掲載されている。 ・ 写真資料の数が多く、動画資料を視聴できるようQRコードも示されている。 ・ 下巻86ページ、90ページの輪ゴムを飛ばす活動には危険を感じる。 ・ ルビ付きの文字は小さい。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のふりかえりをシールに書き、単元末や巻末に張ってまとめができるページが設けられている。しかし、シールは丸くて線がないため、扱いにくい。 ・全体としてイラストが多く、ページによってイラストのタッチが変わっており、統一感に欠ける。 ・ページの端の「どうすれば」の4コマリードが、統一感なく左、右、下に出てくる。また、内容も一部ずれていると感じるものがある。（上36ページ、上88ページ） ・表紙が光村・国語と類似している。表紙のイラストも生活科の活動と直結していない。 ・ホップ・ステップ・ジャンプのキーワードをページ端に示し、全単元を通して、今どの段階の学習をしているのかが示されている。 ・学習の助けとなる写真・動画を見ることができるQRコードが示されている。 <p>以上の理由により教科書として概ねよい。</p>		
	発行者の番号	61	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「がくしゅうずかん」としてイラストで学習に役立つ情報や約束がインデックス・リンクマークを付けて示されており、活用しやすい。 ・季節の歌や道具の使い方等、動画資料を視聴できるよう、QRコードも示されている。 ・ページの左上部に「わくわく・いきいき・ぐんぐん」のキーワードを付け、何に重きを置く学習なのかが示されている。 ・写真は大きく、わかりやすい。特に「これはなにかな?」（上23ページ、29ページ）や虫の脱皮やふんの写真（下50ページ）が興味関心をひくものとなっている。「たねをまこう」のページの写真も、種と花がセットで示されており、わかりやすい。（上24ページ、下20ページ）理科につながるインパクトのある写真が多い。 ・吹き出しやリンクページを示す文字が小さいところがある。（○の中のがくしゅうずかん等） ・上巻頭「すたあとぶつく『がっこうだいすき あいうえお』」や下巻末「3年生へのステップブック『みらいにむかって』」で各教科との関連が示されている。 ・単元冒頭の見開きで、矢印とページを示してあり、意欲が継続できるよう工夫されている。（下11ページ）「きせつだより」（下56ページ、70ページ、96ページ等）や「まとめよう つたえよう」（下116ページ）、「記ろくしよう」（下112ページ）は参考になる。 ・各学習のタイトルと右ページ端縦のめくりことばと矢印により、次時に思考がつながる。 ・わくわくボックスが単元冒頭にあり、興味をひくものとなっている ・ユニバーサルデザインフォントが使用されており、見やすい。 ・「手をあらおう」のマークが随所にあり、衛生面に配慮されている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
	発行者の番号	61	発行者の略称

種目（教科）	生活（生活）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	116	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・活動での安全への意識を高めるため、ページ右上に手洗いや注意を促すマークが示されている。 ・パソコン活用に関するマークも随所にあるが、リンク先が示されているわけではない。 ・ページ左下には学習のめあてが示されているが、文字が小さい。 ・ページを山折りにして種と双葉、つぼみ、花、実までを比べることができるよう工夫されている。 ・ふりかえりや学習に活かせるよう、巻末の「ちえとわざのたからばこ」に、気もちのつたえかた、ちょうちょむすび、ふくのたたみかた、点字コーナー等が示されている。 ・表紙は上下巻ともに児童の顔写真が大きく掲載されている。 ・雨の日をたのしもう(上58ページ)、なつをもっとたのしもう(上60ページ)等は、他社にはあまり見られないページであり、興味深い。 ・はる、なつのあそびずかんも活動に活かせるものとなっている。 ・秋の葉や実の図鑑(上81ページ)はイラストであり、写真の方が望ましい。 ・おもちゃ図鑑の文字が小さい。 ・イラストの雰囲気は落ち着いた感じで、わくわく感がない。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	音 楽（音 楽）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 7	発行者の略称	教 出
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や学校毎のカリキュラムマネジメントに対応しやすいように、目次には、主要部分と選択可能なオプション部分が記載されている。 ・オプション部分には、音楽会や集会等で歌わせたい魅力的な曲が多く、英語の歌にチャレンジするなど、教科横断的に取り組むことができる教材も含まれている。 ・2年以降の導入部分に常時活動が設定され、繰り返し楽しめる歌や拍・リズムのスキルを定着させる教材が記載されている。 ・低学年での鍵盤ハーモニカの演奏技能をしっかりと定着できるように、実物大の写真が掲載されている。 ・歌詞の内容をイメージ豊かにしながら歌唱できるように、3年生以上の共通教材に折込を使った大型写真が記載されている。 ・音楽科としての基礎的な知識を主体的に身につけ、定着を着実にするために、巻末に「音楽のもと」や「音楽を表すいろいろな言葉」が設けられている。3・5年生の透明シートも、児童の関心を高めるのに効果的である。 ・児童が自分の思いや意図を生かしながら、音楽づくりの発想を得たり構成したりできるように、考えるポイントを丁寧に示し活動できるように設定されている。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	2 7	発行者の略称	教 芸
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が主体的に学習に取り組んだり前学年との学びの違いを自分で比較したりすることができるように、巻頭には、1年間の学習の見通しをもち「何を学ぶのか」分かりやすく提示した学びの地図が、巻末には、1年間の学びを振り返ることができるページが設けてある。 ・児童と授業者が意識しながら教材をつなげ、ねらいに迫ることができるように、題材のねらい（付きたい力）とその力を付けるために構成された各教材が、色別で明確に示されている。 ・年間通じて対話的で協働的な学習が進められるように、子どもやキャラクターの吹き出しが効果的に掲載されている。 ・基礎的な知識や技能の定着が着実に図れるように、支援を要する児童へのアドバイスやポイントが、イラストを用いて分かりやすく記載されている。 ・曲や演奏のよさを目や指で感じながら鑑賞できるように、旋律やリズムの特徴を示した絵譜や譜例が、大きく効果的に記載されている。 ・打楽器→金管楽器→木管楽器→弦楽器→オーケストラへと6年間かけて系統的に学ぶことができるように題材が構成され、児童の興味・関心を高めながら知識として定着するよう、各学年に大きな写真を用いて記載されている。 ・音楽をきっかけに教科等を超えた知識を広げたり深めたりすることができるように、歌詞や曲が生まれた背景を紹介するコラムや人・生活・社会と関わる特集が、各学年に設けられている。 <p>以上の理由により、教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	図画工作（図画工作）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	9	発行者の略称	開 隆 堂
特徴・特筆すべき事項	<p>特徴：題材数が厳選されており、教科書が主となった授業スタイルの確立となる。</p> <p>■学習指導要領との関連内容からの分析</p> <p>A 表現</p> <p>①造形遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな袋に空気を入れて積み上げるなどダイナミックな造形遊び題材である。 <p>②絵で表す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵の題材が多く掲載されている。 ・写実的な表現から始まり、想像的な要素を付け加える表現指導が設定されている。 ・木版画ではカラーグラデーション印刷が魅力的だが実際的な指導が難しい。 ・高学年でも写実的な表現が多いが、技能差が大きくなる時期なので配慮が必要となる <p>③立体、工作で表す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土を使った立体工作題材が提示され、塊から掻き出す制作方法が示されている。 <p>B 鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画家の作品が大きく提示されている。 ・「絵から聞こえる音」では、鑑賞の後、形や色で音を表現し鑑賞からの表現活動が提示。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		
発行者の番号	1 1 6	発行者の略称	日 文
特徴・特筆すべき事項	<p>特徴：ページ数が多く、たくさんの題材・素材の提示がされているので、授業者が実態に応じて取捨選択して実践できる授業スタイルが確立できる。</p> <p>■学習指導要領との関連内容からの分析</p> <p>A 表現</p> <p>①造形遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の造形遊びには、「形をつくる」などの指導観点が入っており指導しやすい ・中学年「風と袋の題材」では、理科との関連が図れる。提示されている材料や素材が集めやすく、教室でもできる。体感だけで無く、「すみか作り+遊び」など共同作業の後、楽しめるしかけとなっている。「クミクミックス」は子どもが夢中になる「立体組合せのしくみ」が提示。 <p>②絵で表す・・・発想の手がかりが具体的に示されているので、想像を広げて描ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段ボールに描くなど描画材料の幅がある。 ・高学年は、抽象的な表現が多く、描写能力差があっても楽しみながら表現活動ができる。 <p>③立体、工作で表す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主題を限定することでイメージを持ちやすい提示となっている。 ・焼き物が題材として取り組まれており工芸が盛んな石川県の伝統産業理解に繋がる。 <p>B 鑑賞・・・アートカード（指導書附属品）を活用した鑑賞ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年「すきまちゃんのすきなすきま」の題材は、子どもが夢中になって活動できる。 ・中学年では、自然の形と色で、色作りを行ったり、人物のポーズに着眼させ、真似てポーズを取るなど主体的・対話的な鑑賞方法が示されている。 ・「この筆あと、どんな空」では、鑑賞後に「自分の空」を描く活動に繋げている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目 (教科)	家庭 (家庭)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、「協力、健康・快適・安全、生活文化、持続可能な社会」のうちどの視点を重視するか、大題材のタイトル横に示している。 ・問題解決の思考が身に付くよう、すべての大題材で、3ステップの学習が展開されている。 <ul style="list-style-type: none"> ①課題発見 (見つめよう) ②課題解決・実践活動 (計画しよう・実践しよう) ③評価・改善 (生活に生かそう・新しい課題を見つけよう) ・ページ下に、ステップごとにふり返る「問い」が設定され、学習の目的を明確にしている。 ・実習技能を巻末の「いつも確かめよう」にまとめ、必要な時に確かめられるようにしている。調理では、実寸大写真とイラストからイメージを具体的にもたせたり、制作では、簡単な作品づくりで技能を習得してから制作活動に移ったりするなど、分かりやすさへの配慮がある。 ・新設「生活の課題と実践」では、「生活を変えるチャンス！」を学期末の5か所に設置し、学校や地域の実態に応じて取り組むことができるようにしている。 ・動画コンテンツ「Dマーク」、キャリア教育につながる「プロに聞く」、安全教育、防災教育、食育、日本の伝統、地域の人々との関わり等、現代的な課題に対応する工夫が見られる。 ・題材の並びが、2年間で適切に整理されている。 ・A4判で紙面が増えた分、丁寧な解説、資料の充実、特別支援教育への配慮が見られる。また、全体的に明るくデザインも新鮮であり、児童の興味関心をひくものになっている。 <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	9	発行者の略称	開 隆 堂
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の4つの見方・考え方を4種のマークで区分し、キャラクターが投げかける吹き出しの横にマークで示すことで、どの視点が重視されているか分かるようにしている。 ・自分自身の「生活」を見つめることを出発点として、3つのステップで題材が構成されている。 <ul style="list-style-type: none"> ①見つける・気づく ②わかる・できる (計画・実践・ふり返り) ③生かす・深める ・フォトランゲージを用いて、自らの気づきと対話から興味関心を高める学習展開となっている。 ・実習技能は、スモールステップで積み重ね、基礎基本を着実に習得できる配慮がある。また、つまずきやすいところは段階を追って、丁寧にイラストで説明している。 ・新設「生活の課題と実践」では、課題の解決に向かうためのステップを示すとともに、5年生でも6年生でも取り組める3例を掲載し、2学年で1つまたは2つの課題履修に柔軟に対応できるようにしている。 ・動画コンテンツ「QRコード」、キャリア教育につながる「～にかかわる人」、環境教育、伝統文化、生活の中のプログラミング等、現代的な課題にも対応する工夫が見られる。 <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目 (教科)	保 健 (保 健)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「ステップ1 (気付く・見つける)」の活動の後に学習課題を提示することで、本時の学習課題を自分のこととして捉えることができるので、導入をスムーズに行うことができる。 ・「ステップ1」を右ページに配置することで、本文ページを開かず (見ず) に授業の導入ができる。 ・章の扉にある「つなげよう」では、学習する内容と関連のある道徳や各教科の内容項目が示されているので、既習内容や新しい学びに結び付けて学習できる。 ・ステップ4 (まとめる) では、学年の発達段階に応じた内容で要点をまとめる欄が設けられており、簡潔でわかりやすい。 ・各項目末の「資料」では、スポーツ選手が実践していることや実際のデータが掲載されていて児童の興味を喚起することができる。 ・書き込み欄が豊富に設定されている。 ・背表紙に保護者へのメッセージが明示されており、わかりやすい。 <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>		
発行者の番号	4	発行者の略称	大 日 本
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・章末の「学んだことを振り返ろう」では、学んだことを自己点検するチェック欄が設けられているので、児童が自己評価したり教師が児童の理解度を確認したりすることに有効である。 ・章の始めの「わたしたちはどこかな」では、身近な生活の場面絵からキャラクターを探すゲームを設けることで、自然と学習課題に気付き、主体的に学習に取り組むことができる。 ・細菌 (病原体) の大きさについて、拡大倍率ではなく、分数で明示されていることで、児童にとって大きさについて、よりわかりやすい。 ・「自然災害から身を守る」の学習を通して、自然災害が発生した際の行動を身につけられるようにしたり、安全マップの作成を通して、自然災害に備えたりできるように配慮されている。 ・巻末にシールを用意し、児童が興味をもって活動できるようにしたり、作業時間を短縮し、思考する時間を多くとったりすることができるよう配慮されている。(3・4年生) <p style="margin-top: 10px;">以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	保健（保健）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	207	発行者の略称	文教社
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・章末の「わたしのけんこうせん言」「わたしのすくすく宣言」等では、サンプル宣言を記載した記述欄を設け、友達と考えを伝え合う活動を通して思考する力や表現する力を身に付けることができるよう配慮されている。 ・「やってみよう」の学習活動では、気分転換の仕方や複式呼吸の仕方が詳しく説明されている等、技能の習得が図られている。 ・知識をまとめる本文に、キーワードを太い文字で強調したり、カラーの囲みをつけたりすることにより、他と区別できるように配慮され、見やすく分かりやすい。 ・学習内容との関連のある発展的な資料や科学的な情報（例 熱中症など）が「発展」に掲載されている。 ・背表紙に教科書無償についての説明が明示されており、わかりやすい。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		
	発行者の番号	208	発行者の略称
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章末の「学習のまとめ」では、学んだ知識の確認や活用、振り返りをする場面を設け、知識の定着を図るとともに、自己評価したり生活に生かす意識を持たせたりすることにつながる。 ・学習内容を確実に身につけることができるように、「学習のまとめ」では、学習内容の確認と該当ページ数が記載されている。 ・保健を学ぶ大切さを巻頭のトップアスリーの言葉や「どうして保健を学習するのか」で示したり、章扉で学習をストーリー形式（コマ漫画）で示したりすることで、主体的に問題解決的な学習に取り組むことができる。 ・「さらに広げよう深めよう」では、多種多様な現代的課題（ストレスの様々な見方、インターネットの正しい使い方など）を取り上げて、発展段階に応じて示されている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	保 健（保 健）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2 2 4	発行者の略称	学 研
特徴・特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の始めには初めには扉を設け、その章での課題を提示したり問いかけたりすることで、学習の見通しをもたせることができる。 ・「もっとしりたい調べたい」では、「自然災害や救急事態に備えて」の発展的な学習内容が取り入れられており、災害への知識や対処法を知ることができる。 ・章末の「学習をふり返る」では、習得した知識を確認することができる欄が設けられており、児童が自己評価したり今後の生活に生かす意識付けを行ったりすることができる。 ・「かがくの目」では、科学的な実験や観察の結果などの資料が提示されており、科学的根拠をもとに学習内容の理解が深められたり、納得させたりできるように工夫されている。 ・詳しい情報や関連する内容について欄外に設けられている。 <p style="margin-left: 2em;">以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	英 語（英 語）	教科責任者 氏名
発行者の番号	2	発行者の略称 東 書

特 徴 ・ 特 筆 す べ き 事 項	<p>①各単元で、音声から文字への学習の流れを重視し、やりとりを繰り返しながら、必要感を持ってスムーズに書く活動へとつながるよう配慮されている。5領域においては、「読むこと」「話すこと（やりとり）」「書くこと」の活動が多く設定してある。（知・技）</p> <p>②様々な語彙や表現を話したり書いたりする活動に生かすことが出来るよう、「Picture Dictionary」に小学校で学びたいことや表現が600語から700語収録されている。（知・技）</p> <p>③各学年8つの単元と3つのチェックやステップの基本構成を通して、英語を使う必然性のある場面を設定し外国語の見方や考え方を働かせて学習できるよう配慮されている。単元末において目的・場面・状況を設定し、学んだことを生かしながら自分の考えを伝え合う場が設定されている。（思・判・表）</p> <p>④単元で何を学ぶかがわかるよう、単元冒頭に、「Our Goal」として目当てが示されている。（自主）</p> <p>⑤単元ごとに学習に見通しを持ち、振り返りをしできたことを確認できるよう、「Picture Dictionary」の中で2年間分の「Can Do リスト」が掲載されている。（自主）</p> <p>⑥2学年を通して、単元のテーマの流れを特別の教科 道徳の4つの視点に関連させ自分、人、社会、生命や自然に設定されている。（伝統文化）</p> <p>⑦「理科 水の循環」、「社会 食料輸出入」、「家庭 栄養素」、「音楽 和楽器」など、他教科の学習との関連を図る教材が取り入れられている。（教科）</p> <p>⑧導入パート「Starting Out」でインプットされた音声を手がかりに、展開パート「Your Turn」で表現に慣れ親しみ、その表現を使ったコミュニケーション活動を楽しむ体験「Enjoy Communication」が実生活実社会に生かされるよう配慮されている。（系統発展）</p> <p>⑨2次元コードが約200か所設定され、音声のみの視聴か映像を加えた視聴かを選択できるよう配慮されている。持ち帰れば家でも音声や動画を視聴することが可能である。（系統発展）</p> <p>⑩本体は大きな判型で、文字の書き込みやすさ、カードの貼り込みやすさに配慮されている。また、「Picture Dictionary」を別冊にし、単語を確認できるように本体下の欄に掲載されている。また、単語が4線で表されており、見ながら容易に書き写すことができるとともに持ち運びしやすいよう配慮されている。（印刷製本）</p> <p>以上の理由により教科書として極めてふさわしい。</p>
--	---

発行者の番号	9	発行者の略称	開隆堂
特徴・特筆すべき事項	<p>①全単元において、導入の「Let's Listen」から単元末の「Let's Try」に向け、場面に応じた英語表現を使う活動を段階的に繰り返し設定し、英語表現を使う必然性を持たせ、児童がやりとりしたいと思える活動を通して無理なく身に付けられるよう配慮されている。(知・技)</p> <p>②巻末の「文字に慣れよう」には、英語の読むこと、書くことを体系的に、繰り返し学習しながら文字に関する技能を着実に身に付けられるような活動が設定されている。(知・技)</p> <p>③「Project」が各学年に2回設定されており、それまでの学習で身に付けた知識・技能を再思考しながら活用し、表現することができるよう配慮されている。単元末では、自ら伝えたい内容に応じて、思考・判断・表現することができるよう考えられている。(思・判・表)</p> <p>④巻頭に「Can Do マップ」が掲載され、学年のはじめに児童が各単元でどのような活動に取り組み、どのような能力が身に付けられるようになるかが明示されている。(自主)</p> <p>⑤各単末の「ふりかえりをしよう」では、学習への取り組み方やできるようになったことを、児童自身が振り返ることにより、主体的・自律的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。(自主)</p> <p>⑥世界の伝統や文化に親しめるよう、十二支の物語や世界のお正月、世界の衣食住などが題材に取り上げられている。(伝統文化)</p> <p>⑦算数科などで学習した内容と関連した学習活動を設定し、該当箇所をマークで示している。(教科)</p> <p>⑧語順、過去形、複数形等について確認し、安心して中学校の学習につなげられるよう、巻末に中学校へつなげようのページが設けられている。(系統発展)</p> <p>⑨「読むこと」、「書くこと」に慣れ親しませるため、児童が間違えやすく書きづらい文字に対応できるよう、手書きの文字に近い書体が採用されている。(印刷製本)</p> <p>⑩学習が円滑に進むよう、巻末の「文字に慣れようコーナー」では、鉛筆で書きやすく消しゴムで消しやすい用紙が使用されている。(印刷製本)</p> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	英 語（英 語）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	1 1	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>①伝統的な歌を毎時間繰り返し聞いたり口ずさんだりすることで、英語らしい音の流れやイントネーションに慣れることができるよう配慮されている。また、「Sounds&Letters」や「Alphabet Corner」で文字の読み書きを学習することで定着が図られている。（知・技）</p>		
	<p>②各単元末の「Use&Check」に、目的・場所・状況に応じて自分の気持ちや考えが表現できる言語活動が設定されている。また、単元のまとめにつながる読みものとして、「Shaggy's Story」が設定されている。（思・判・表）</p>		
	<p>③思考力・判断力・表現力等の育成に向け年2回の「Project Time」では、発表用シートを作って発表し、感想を伝え合う活動が設定されている。（思・判・表）</p>		
	<p>④各単元では、学習のめあてを持つことができるように、最初のページに3観点の目標が明示されている。（自主）</p>		
	<p>⑤各単元では、学んだ内容とできるようになったことを児童自身が振り返ることができるよう、単元末に目標に対応した振り返りコーナー「Check Time」が設けられている。（自主）</p>		
	<p>⑥伝統や文化を大切にし、郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度の醸成を図るために、伝統文化交流会や海外から来た児童との交流の場面、日本や韓国の祭りなどが掲載されている。（伝統文化）</p>		
	<p>⑦社会科の学習やプログラミング学習など、他教科の学習内容や他の国の時間割など異文化に関する内容が掲載されている。（教科）</p>		
	<p>⑧短時間学習などにも対応できるように、各単元の最初のページ15分でできる活動の組み合わせによる学習の進め方が示されている。（系統発展）</p>		
	<p>⑨語彙や表現が定着するよう、5年で学習した語彙や表現が6年でも扱われている。（系統発展）</p>		
	<p>⑩大判にすることで、行間に余裕を持たせ、見やすくなるよう配慮されている。（印刷製本）</p>		
<p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>			

発行者の番号	15	発行者の略称	三省堂
特徴・特筆すべき事項	<p>①気づきを促す豊富なインプットから焦点化したインプットを経て、徐々にアウトプットし、基礎的な英語力が育成されるよう配慮されている。(知・技)</p> <p>②既習の表現を繰り返し聞いたり話したりすること、音声で学んだことを読んだり書いたりすること、学んだ語彙や表現を実際に使うなど、それぞれの活動に関連性を持たせるよう配慮されている。(知・技)</p> <p>③单元の中で予想してから質問したり、伝える文の順番を考えて整理したりする活動を通し、思考力・判断力・表現力等が言語活動を通して伝えあう中で培われるよう配慮されている。(思・判・表)</p> <p>④年間3回のプロジェクト型活動 JUMP のパートで、目的・場面・状況に応じた表現を再構築し、修正し再度取り組む言語活動が設定されている。(思・判・表)</p> <p>⑤各学年の「Can Do リスト」を巻末に掲載し、「自分の力でできた」、「先生や友達のを借りながらできた」、「自信がないができた」という段階に沿って振り返ることができるマークが示されている。(自主)</p> <p>⑥自国の文化や他国の文化を尊重する心が育まれるよう「世界のまつり」、「日本大発見」、「世界の小学校」などが題材として取り上げられている。(伝統文化)</p> <p>⑦他教科で学習した内容が意図的に配置され関連付けて学習できるよう、外来語、時差、ことばなどが題材として取り上げられている。(教科)</p> <p>⑧巻末に、表現をサポートしたり自律的な学びを促したりすることにつながる付録が設けられている。(系統発展)</p> <p>⑨専用の手書きフォントを採用し、書く活動の際の手本となるよう配慮されている。(印刷製本)</p> <p>⑩2次元コードが約150か所設定されている。(印刷製本)</p> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	英語（英語）	教科責任者 氏名
発行の番号	17	発行者の略称
		教出
特徴・特筆すべき事項	<p>①各単元では「Let's Watch/Let's Listen」などの聞く活動から、「Activity」などの聞いたり話したりする活動、「Let's Read and Write」などの読んだり書いたりする活動を経て、「Final Activity」につながるよう、テーマに沿った活動が設定されている。また、単元末にはアルファベットの形や書き方に親しむ活動が設定されている。（知・技）</p> <p>②単元で学習したことを活用し、目的を持って自分の考えや気持ちを表現できるよう、各単元に「Final Activity」が設定されている。（思・判・表）</p> <p>③全単元にある「Let's Think」のパートでは、単元で示された話題に関して自分が伝えたい内容について気づきや思考を促す問いかけが示されている。（思・判・表）</p> <p>④学習への見通しを持つことができるよう、各単元の目標が単元の最初のページに吹き出しで端的に示されている。（自主）</p> <p>⑤各単元の終末の「ふりかえろう」では、3枚のクローバーで自分がどのくらいできたか振り返ることができるよう配慮されている。（自主）</p> <p>⑥読み物コーナーでは、道徳科の教科書でも取り上げられている絵本作品を通して、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮されている。（伝統文化）</p> <p>⑦オリンピック・パラリンピックをテーマに、スポーツ選手を紹介する活動だけではなく、スポーツ選手を支える様々な職業に注目する機会が設定されている。（教科）</p> <p>⑧各単元では、聞くことから始め、歌やチャンツなどで発話すること、簡単なやり取り、作文例を読むこと、伝えたい内容を書くことを経て、発表ややり取りなどの話すことへと展開することができるよう配慮されている。（系統発展）</p> <p>⑨意欲的に学習に止め取り組めるよう、内容を聞き取りながら紙面に5年巻末のシールを貼っていく活動が設けられている。（印刷製本）</p> <p>⑩判読しやすい配色、表現、文字などが用いられている。（印刷製本）</p> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<p>①各単元の「Step」において、英語の知識を活用する基礎的な技能を着実に身に付けることができるよう、ストーリーの中のターゲットとなる表現に気付くこと、聞くこと、チャンツによる口慣らし、会話、書くことというスモールステップを踏んだ活動が組み込まれている。さらに、「Fun Time」などで、文字の定着を図るよう配慮されている。（知・技）</p> <p>②単元活動「You can do it!」では、予想してから質問したり、伝える順番を考えて整理する活動を取り入れたりして、思考力・判断力・表現力等が培われるよう配慮されている。（思・判・表）</p> <p>③対話の内容が深まるよう、思考を深める問いが吹き出しに示されている。（思・判・表）</p> <p>④5領域について、単元ごとにできるようになったことを、児童自身が確かめることができる「Can Do」が各学年に掲載されている。（自主）</p> <p>⑤見通しを持って学習することができるよう、単元冒頭の見開きのページの右上に、単元全体の目標と学習過程が明示されている。（自主）</p> <p>⑥性格や出身国の異なるキャラクターが互いの考えを受け入れながら成長するストーリーを設定したり、12か国で暮らす実際の世界の小学生たちの生の声を紹介したりすることで、違いを認め尊重し合うことの大切さや、多様な文化や価値観を受け入れる心情を育むよう配慮されている。（伝統文化）</p> <p>⑦キャリア教育の視点から、様々な分野において国内外で活躍している人物の学習を通して、その人物の生き方や業績に興味を持てるように配慮されている。（教科）</p> <p>⑧コミュニケーション活動において、必要に応じて使えるよう、巻頭の「Let's start」では、コミュニケーションにおける大切なこと、アルファベット表記、教室で使う英語などが記載されている。（系統発展）</p> <p>⑨ユニバーサルデザインの取組として、学習活動を紙面上の定位置に配置したり、視認しやすく学習しやすい書体を使用したりするなど配慮されている。（印刷製本）</p> <p>⑩巻末にある絵辞典では、わかりやすく語彙や表現が提示されている。アルファベットだけではなく、フォニックスも掲載されている。さらに、ペンマンシップ・シートがあるので、writingの練習が繰り返しできるようになっている。（印刷製本）</p> <p>以上の理由により教科書としてかなり良い。</p>		

種目（教科）	英語（英語）	教科責任者 氏名
発行者の番号	61	発行者の略称 啓林館
特徴・特筆すべき事項	<p>①基本的な知識及び技能の定着が図られるよう、短時間でできる繰り返し学習に適した聞く活動、話す活動が適宜配置されている。また、単元末「Let's Read and Write」では、読む・書くことの練習コーナーが設定されている。（知・技）</p> <p>②各単元末の「Let's Read and Write」コーナーには、言語的な気付きを促したり、読むこと、書くことを練習したりするコーナーが設定されている。（知・技）</p> <p>③既習の表現を場面や状況を変えて、思考しながら相手のことを意識して表現する活動が、各学期末の「REVIEW」に思考力マークを付けて設けられている。（思・判・表）</p> <p>④見通しを持って学習することができるように、各単元で、単元全体のめあてやPartごとのめあてが記載されている。（自主）</p> <p>⑤次の学習への意欲につながるよう、各単元の振り返りの中に、「英語で言いたかったけど言えなかったこと」、「もっと知りたいこと」を記述する欄が設けられている。（自主）</p> <p>⑥オリンピック・パラリンピックの題材を通して、異文化に触れることができるよう配慮されている。（伝統文化）</p> <p>⑦福祉、防災・安全について考える機会や、将来就きたい職業について考える機会を設け、キャリア教育と関連付けて学びが深まるよう配慮されている。（教科）</p> <p>⑧語句や文を家庭学習や自学自習に活用できるよう、音声にアクセスできる2次元コードが設けられている。（系統発展）</p> <p>⑨「CHALLENGE」にポスターや掲示板、グラフを見ながら説明を聞き、質問に答えるなど発展的な活動が設定されている。（系統発展）</p> <p>⑩ユニバーサルデザインフォントを採用するとともに、判別しにくい配色を避けたりシンプルなイラストを扱ったりするなど見やすさが配慮されている。（印刷製本）</p> <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

令和 2 年度使用小学校用教科用図書研究報告書

種目（教科）	道 徳（道 徳）	教科責任者 氏名	
発行者の番号	2	発行者の略称	東 書

特徴・特筆すべき事項

- ①言語活動の充実を図る工夫
- ・巻頭には全学年「話し合いの約束」を掲載し、対話を重視した学習を進める上での留意点が示されている。
 - ・2年生以上の巻頭折り込みに、「ちょっとみんなで話し合ってみよう」を掲載し、自分の考えをもとに書いたり話し合ったりする道徳の学習の視点が示されている。
 - ・教師用ワークシートには、教科書に掲載してある2つの設問が載せられ、児童は自分の考えを書くことができる。
- ②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫
- ・「問題を見つけて考える」教材を、3、4年生で1つ、5、6年生で2つ取り入れ、目次と教材に蝶のマークを付けている。蝶マークの教材は、扉のページで問題意識を持たせ、教材名の下の「考えながら読もう」では、主題に迫る問題を投げ掛け、問題意識を持たせている。教材末には「考えるステップ」を設け、考えていく道筋を示している。
 - ・「出会う・ふれあう」を各学年2つ設け、他とのコミュニケーション活動により、道徳的価値について生活と関連して考える活動を取り入れている。
- ③主体的な学びにつながる工夫
- ・各教材の冒頭に子供に分かりやすい言葉で内容項目を示している。1、2年生では「はじめに」で、内容項目に興味を持たせる問いかけを示している。3年以上では教材末に「考えよう①」、「考えよう②」を設け、「考えよう①」では教材文について、「考えよう②」では自分とのかかわりについて特に重要な設問を掲載し、児童に自ら考える視点を与えている。
 - ・全学年の巻末に、毎時間の学習状況を振り返るページと学期毎に心に残った学習を振り返るページを掲載している。
- ④多様な題材の工夫
- ・「いじめのない世界へ」は、扉のページ・直接教材・間接教材の3つの要素からなるユニットとして全学年に1つ組み入れ、いじめ防止を強調している。
 - ・情報モラルに関する教材にはマークが付き、全学年に1つずつ掲載がある。
- ⑤他教科等との関連
- ・中、高学年の各3つの教材で、教材文に続けて「つながる・広がる」ページを設け、「他教科との関連」を明示して関連する内容を掲載している。
 - ・全学年において、巻末のふろく「つながる・広がる」では、各学年のテーマに沿って考えを広げるページを設定している。その中には音楽科との関連で、「みんなで歌おう」を全学年掲載している
- ⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列
- ・インターネットで教材内容と関連する動画を活用できる教材が全学年で4教材配列され、教材理解を深めることができる。
- ⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本
- ・A B判は紙面が広くて見やすく、扱いやすい。
 - ・内容項目が分かるように4つの視点毎にマークと色分けをし、従来のものより行間を広め、ユニバーサルデザインに配慮している。
- 以上の理由から、教科書として極めてふさわしい。

種目(教科)	道徳(道徳)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	11	発行者の略称	学 図
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」巻末の「まなびのヒント」では、道徳の授業で話し合うときの約束やヒントを具体的に掲載し、道徳の授業が対話的で深い学びとなる視点を示している。 ・「まなび」の「こころのパレット」では、教材の中心的な発問について自分の考えを書くコーナーを設け、自分の考えを整理することができる。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」の「考えよう」では、教材文での中心的な発問を、「みつめよう」では、自分とのかかわりで考える発問を示し、教材から道徳的価値を深く考えられるようにしている。 ・学年に1教材、「まなび」に「やってみよう」があり、役割演技を行うことで児童が深く考える発問が例示されている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きづき」と「まなび」が分冊になっており、教材文の「きづき」には、内容項目、主題、発問がなく、児童自ら問題に気づかせることをねらっている。 ・「まなび」は、右側のページの「こころのパレット」で、道徳的な価値や課題を示し、教材について考える視点を自ら見出すことができる。左側のページでは、同じ内容項目の異なる2つの教材で考えたことを同一ページに書くことになっており、学習をつなげ成長を実感できるようになっている。 <p>④多様な題材の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きづき」の目次に、「ともにいきる」マークを5個～7個付け、いじめ防止や周りの人との関係について考える教材を年間を通じて複数配列し、繰り返し様々な面から考えることができるようになっている。 ・情報モラルに関する教材は、低学年1教材、中・高学年で2教材取り上げている。その他、キャリア教育・国際理解教育・持続可能な発展・防災教育に関する教材、スポーツに関する教材を取り上げている。 <p>⑤他教科との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」のコラムや「きづき」の「ふるさとコラム」では、他教科での学習や地域との関連が図られ、自主的・発展的な学びに生かされるようになっている。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まなび」は、内容項目毎に見開き1ページとなっており、長期的な学びの深まりを実感できるようになっている。 ・「きづき」には、全教材にQRコードが付いており、登場人物の紹介や補助資料を掲載している。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A B判で扱いやすい。今回の改訂で、教科書全体で328gの軽減をし、文字数を5、6年生で削減した。 ・ユニバーサルデザインの監修を受け、文字は全学年で一回り大きくし、行間を広げ読みやすくなっている。色調は優しい感がある。 <p>以上の理由から教科書として概ね良い。</p>		

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名
発行者の番号	17	発行者の略称
		教出
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にオリエンテーションのページ「道徳ではこんな学習をするよ」を設け、気づく・考える・深める・つなげる活動において、言語活動の視点を示している。 ・教材末の「考えよう」では、心情や行為の理由を問う発問と教材のテーマを追求する発問の2つと、☆マークの付いたねらいとする道徳的な価値に深く迫る発問が書かれている。「深めよう」では、自分とのかかわりで考える発問例が書かれ、話し合ったり書いたりする手立てとなる。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文巻頭の問いかけで、児童は問題意識を持って教材文を読むことができる。 ・「やってみよう」では、動作化や役割演技の具体例を示し、登場人物の心情や行為に共感し、体験的に道徳価値を深めることができる。また、モラルスキルトレーニングを全学年に取り入れている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文巻頭では、どのような学習をするのか見通しを持たせる具体的問いかけを書いている。また、関連する内容項目の教材名が書かれ、児童は学習をつなげて考えることができる。 ・巻末の「学びの記録」では、児童は心に残った道徳授業の振り返りを記入し、これからの課題や成長を実感することができる。 <p>④多様な題材の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題では、食育、健康教育、防災教育、福祉教育、法教育、キャリア教育などの視点から身近な事例をもとに考える教材を配列している。スポーツに関する教材や先人・偉人の教材は全学年に取り入れている。 ・全学年通して3つの重点テーマ「いじめをなくす」、「生命を尊重する」、「情報モラルを考える」を各学年に位置づけ、目次や教材文にマークを付けている。 <p>⑤教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「学習内容一覧」には、現代的な課題との関係や他教科・領域との関係が記載され、関連した学習がしやすくなっている。3年生以上では、「まなびリンク」のマークが付けられ、補助資料にリンクすることができる。アスリートへのインタビューの動画なども掲載してある。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材文は同じ内容項目毎にまとめて配列してあり、児童の学習意識を継続できるように工夫している。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに配慮し、文字は線の抑揚を押さえ、空間を広く取り読みやすいように改訂された。障害のある人が描いたパラリンアートを全学年に掲載している。 ・教材文と内容項目との関連が分かるよう、4つの視点毎にマークと色で区別されている。 ・A B判で扱いやすい。 <p>以上の理由から教科書として概ね良い。</p>	

種目(教科)	道徳(道徳)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	38	発行者の略称	光村
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「道徳の時間」が設けられ、話し合ったり、書いたり、読んだりして考える時間であることが書かれ、授業の中で有効に活用できる。 ・教材末の「考えよう・話し合おう」では、対話を通して深い学びとなるよう、3つの考える視点が例示され、特に深く話し合いたいものには、◎が付けられている。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「考えよう・話し合おう」では、1時間の授業を通しての学習のめあてを青や茶色で示しているため、児童は問題意識を持って考えることができる。 ・全学年1教材で「演じて考えよう」を掲載し、役割演技の活動例を丁寧に示してある。発言例は示していないので、児童自身の考えで役割演技を行えるようになっている。役割演技後の、考えを深める活動例も示されている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭に、キャラクターによる児童への呼びかけの言葉を示し、自分ならどうするだろうと主体的に楽しく教材に向き合えるようにしている。 ・学期毎に学びの記録のページがあり、成長の過程を実感できるようになっている。 <p>④多様な題材の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代的な課題は、情報モラル、いじめ問題、環境、国際理解、福祉・共生をとりあげている。それらはユニットとして編成し、教材の冒頭の「よびかけ」と2つの教材及びコラムのページを配列している。 ・「何だろう、何だろう」を全学年に1つずつ取り入れ、「自分ってなんだろう」「幸せってなんだろう」「友だちってなんだろう」など、児童が進んで考えるコーナーを設けている。 <p>⑤教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には教材と各教科との関連が一覧表で記載され、一目で分かるようになっている。 ・教材末の「つなげよう」には、関連する内容の図書を紹介し、道徳の学びが授業でとどまることなく他教科や日常生活につながるようにしている。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の道徳をA・B・Cの視点でまとめ、Dの視点は年間を通して配置し、さらにそれぞれの視点で小さなテーマを設け、カリキュラムマネジメントを意識できるように教材配列を工夫している。 ・動画コンテンツをQRコードで読み込むと、動画、朗読、参考写真、参考ウェブサイト等、学びのサポートができる。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書は、B5サイズで、ランドセルにも入りやすく扱いやすい。 ・ユニバーサルデザインの校閲を受け、色にも配慮している。 <p>以上の理由から教科書として概ね良い。</p>		

種目(教科)	道徳(道徳)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	116	発行者の略称	日文
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭「道徳の学び方」では、学習方法を「気づく」「考える・深める」「見つめる・生かす」と示し、特に「考える・深める」では、言語活動の「話し合ってみよう」「動いてみよう」「書いてみよう」を、写真と吹き出しで提示し、「考える道徳・議論する道徳」を児童にイメージしやすく示している。 ・道徳ノートでは、上段は教材文での思考を深める発問1つについて、下段は友達の考えや授業の振り返り等を自由に記述することができる。上段の発問については、さらに工夫を加えたい場合は、デジタルデータ集の活用により、授業者が自由に加工することが可能である。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虫眼鏡マーク」が1年は1つ、2年は2つ、3年以上は3つ付いている。これは、問題解決的な学習方法に適している教材で、これらの教材の後には、「学習の手引き」が挿入され、写真や挿絵により、問題把握、個人思考、集団での話し合いと対話による学習が児童にもイメージしやすくなっている。 ・これまで自分が体験したことを生かして考える教材にはマークが付けられ、「学習の手引き」では、具体的な活動例や留意点が示されている。役割演技や動作化の写真がふんだんに提示され、児童は体験的な学習がイメージしやすくなっている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材の巻頭には、内容項目の視点が分かりやすい言葉で記されている。また、教材の内容が把握しやすいように、登場人物と教材に興味を湧くコメントがあり、考え議論する時間を確保しやすいようにしている。さらに、教材に入り込むきっかけとなる問いが書かれ、主体的に考える手立てが工夫されている。 ・教材末にある「考えてみよう」の発問は、教材のねらいに迫る発問例が、「見つめよう生かそう」では、これからの自分に生かしていく視点からの発問例が記されている。 <p>④多様な題材の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止をテーマとしたユニット「人との関わり」は、全学年で学期に1回、年間3回配置されている。現代的な課題について、「いじめ防止」「安全確保」「情報活用・情報モラル」は重点的に扱い、その他、SDGs・伝統文化・国際理解教育・食育・キャリア教育についても教材や「心のベンチ」で取り扱っている。 <p>⑤各教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニットで指導する教材を中心に「心のベンチ」が各学年5つ設定され、各教科と関連して、ねらいとする価値に迫る工夫がなされている。 ・巻末の学習内容一覧には、各教材と他教科等との関連が明示されている。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生はスタートカリキュラムを意識しており、巻頭のイラストでオリエンテーションができる。発達段階に応じて、内容項目の比重を工夫し、1、2年生は節度や規範意識、3、4年生は自己理解や周りの人との協力、5、6年生は中学校との接続を意識し、社会の一員としての自覚を育てる内容項目が多くなっている。 ・デジタルコンテンツのマークが付いている教材では、映像や動画でさらに学習を深めることができる。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きいっぱいの挿絵や写真があり、子供の心に感動を呼び起こす。挿絵も明るく、豊富に使われているので教材への理解を助け、興味関心を引きつけるものである。 <p>以上の理由により、教科書としてかなり良い。</p>		

種目(教科)	道徳(道徳)	教科責任者 氏名
発行者の番号	208	発行者の略称
		光文
特徴 特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の時間はこんな時間です」では、「問いを持つ」「考える」「まとめる」の学習の進め方を示し、「考える」では、話し合ったり書いたりする言語活動を示している。 ・「道徳ノート」の例を示し、書いてまとめる活動のイメージをつかみやすいようにしている。 ・教材文の下には、キャラクターによる考えるためのポイントや大切な見方の投げかけがあり、教材末の「まとめる」「広げる」では、教材を通して考えを深める発問例を示している。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「問いを持つ」学習を重視し、教材文の冒頭に、この教材を通して考えたい問いが書かれているので、児童は問題意識を明確にして学習を進めることができる。 ・「みんなでやってみよう！」では、人間関係を豊かにするコラムが掲載され、教材とつなげて体験的な学習ができるようにしている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「いろいろな場面で」や「あなたはどんな自分になりたいですか」では、主体的によりよい自分をめざして目標を見付ける工夫がされている。 ・巻末に「学びの足跡」のページがあり、「心の矢印」や「ひとこと」では、毎時間の道徳の学習での変容や振り返りを短時間でできるように工夫されている。 <p>④多様な題材の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報モラルの教材は、全学年で配列し、さらに教材の他にコラムとしても取り上げ、さらに考えを広げられるようになっている。 ・現代的な課題であるキャリア教育、健康教育、防災教育、主権者教育などの教材を配列している。 ・いしかわ版の資料が付録としてCDで付いている。 <p>⑤他教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラムを配置し、他教科等とつなげて効果的に学習できるようにしてある。 ・教材末の「広げる」では、地域や家庭とのつながりも意識されている。 ・「ことばのたからもの」では、ことわざや人物の名言と道徳の学びをつなげている。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命の尊厳」「協力」「規則の尊重」において重点主題が設定され、系統的・発展的に全学年でユニットとして配列してある。 ・ <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙絵は、子供たちの「ゆたかな心」がきらめく瞬間を表紙に盛り込んであり、見る人の心が明るくなる挿絵である。 ・印刷、挿絵等は適切である。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

種目（教科）	道徳（道徳）	教科責任者 氏名
発行者の番号	224	発行者の略称
		学 研
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「道徳の授業が始まるよ」では、低・中・高学年に応じて「話し合おう」「やってみよう」「書いてみよう」という道徳の学び方を示している。 ・「つなげよう」「深めよう」には、鉛筆マークが付いているものがあり、自分の考えを書いて考えを深めたり、自分の考えをもとに話し合ったりすることができる。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深めよう」「やってみよう」では、グループでの話し合いや役割演技の具体的な例が掲載され、問題解決的な学習の手立てとなる。 ・教材末の「考えよう②」では、内容項目のテーマに迫る発問例が多く示され、児童は教材を通して問題意識を持つ助けとなる。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「自分のことを書いてみよう」、巻末には「心の宝物」が設けられ、学習を振り返り、自分自身の成長を見つめることができる。 ・「つなげよう」では、道徳の時間で学んだことをもとに自分を見つめ、自分のよりよい生き方につなげるために、もう一度、別の角度から考える視点を示している。さらに、「考えたことを家の人と話し合いましょう」という投げかけも掲載されている。 <p>④多様な題材の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生命の教育」を重点テーマとし、全学年2つのユニットを編成し、ユニットの学習後に考えたことを書くコーナーが設けられている。 ・従来の読み物教材ではない、新感覚型の教材を充実させ、多様な観点から問題意識を喚起する工夫をしている。 <p>⑤他教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広げよう」では、教材についての追加情報があり、各教科等の学習との関連が図られている。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いのちの教育」が全学年を通じた最重要テーマであり、ユニットを組んで扉のページと複数教材で構成してある。 ・生き方についてユニットを組み、低学年は「しっかり生きる」、中学年は「仲よく生きる」、高学年は「ともに生きる」と系統的・発展的にテーマを設定している。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も巻頭の見開きの写真は、美しく感動を呼ぶ。 ・QRコードにアクセスすると、写真や音が聞けるようになっている教材がある。 ・A4判とし、挿絵や写真、図版等が見やすく児童の感性や学習意欲に訴えかけるようにしてある。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>	

種目(教科)	道徳(道徳)	教科責任者 氏名	
発行者の番号	232	発行者の略称	廣あかつき
特徴・特筆すべき事項	<p>①言語活動の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」の巻末には、「学習の記録」や「話し合い活動の記録」を書くページを設け、学習の学びを振り返ったり、他者との交流での学びを書いたりできる。 ・「道徳ノート」は、内容項目毎に1ページに編集され、内容項目に応じて、自分とのかかわりで考えを深め、書くことができるようになっている。 <p>②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高学年の教材末「考えよう 話し合おう」では、まず、「学習の道筋」で学習のめあてを示し、児童が学習の見通しを持つことができるようにしている。その後に、発問例を示しめあてに迫ることができるようにしている。 ・体験的な学習を促す教材が各学年に取り上げられ、3年生以上では、「学習を広げる」の「活動しよう」で役割演技などの体験的な学習が例示されている。 <p>③主体的な学びにつながる工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上の本冊の冒頭に「道徳の時間はこんな時間」を設け、自己の生き方を考える大切さに気づくことができるように構成されている。また、別冊の巻末「自分を見つめよう、考えよう」では、振り返りの視点が書かれ、主体的な学習に役立つ。 ・別冊「道徳ノート」には、「体験活動の記録」「心に残っている授業の記録」「学習の記録」等のページが編集され、学びを振り返って成長を実感し、これからの課題や目標を見出すことができる。 <p>④多様な題材の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材には各学年魅力溢れる人材を取り上げ、教材末には、その人物の説明を加え、教材をより身近に感じることができる。 <p>⑤他教科等との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年では「いのちを守る」特別ページを、中・高学年は「安全・防災教育」「生命の尊さ」「情報モラル」の特別ページを設け、他教科と関連して学習を広げることができる。 <p>⑥系統的・発展的な内容等の構成・</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「善悪の判断、自立、自由と責任」・「親切、思いやり」・「生命の尊さ」は、全学年共通の重点項目であり、各3時間・3教材を配当してある。さらに、重点項目に関する教材の一部は、重点ユニットとし、2時間連続で配置している。 ・いじめ防止、人権尊重の観点を踏まえて全体を構成し、各学年12～13時間配当してある。 <p>⑦本文の内容・挿絵等の扱い・印刷・製本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A B判で、児童にとっては扱いやすいサイズである。 ・教材下の「インターネット」のマークが掲載されたものは、教材に関連した情報にアクセスできるようにしている。 <p>以上の理由により教科書として概ね良い。</p>		